

平成25年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省25-25)

施策名	目標5-5 自然とのふれあいの推進					
施策の概要	豊かな自然とのふれあいや休養などの国民のニーズに答えるため、持続可能な自然資源の保全を図りつつ、安全で快適な自然とのふれあいの場の提供やふれあい活動をサポートする人材の育成を行う。					
達成すべき目標	安全で快適な自然とのふれあいの場を提供しつつ、ふれあい活動をサポートする人材を育成することでエコツーリズムを推進し、自然とのふれあいの質の向上を図る。また、貴重な自然資源である温泉の保護と適正な利用を図る。					
施策の予算額・執行額等	区分	23年度	24年度	25年度	26年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	9,627	7,820	7,750	7,999
		補正予算(b)	500	4,952	990	-
		繰越し等(c)	▲186	△3,286	△3,886	
		合計(a+b+c)	9,941	9,486	12,626	
執行額(百万円)	9,419	8,480	11,042			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	生物多様性国家戦略2012-2020(平成24年9月28日閣議決定)第3部第2章第1節2「自然とのふれあい活動の推進」「自然とのふれあいの場の提供」					

測定指標	自然とのふれあいの場である自然公園等の利用者の推移(千人)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	年度	-
		-	897,846	886,844	807,909	843,874	集計中	-	
	年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-	-	
	エコツーリズム推進法の規定に基づく全体構想認定数	基準	施策の進捗状況(実績)					目標	達成
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度		-
		0	1(1)	0	0	2(3)	1(4)	-	
	年度ごとの目標	-	-	-	-	-	-	-	
	温泉利用の宿泊施設利用人数の推移(千人)	基準	施策の進捗状況(実績)					目標	達成
		-	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	-	-
-		127,930	124,925	120,061	124,695	集計中	-		
年度ごとの目標	-	-	-	-	-	-	-		

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 相当程度進展あり (判断根拠) ・エコツーリズム推進全体構想の申請は協議会が任意で行うものであり、国が目標値を示すことは困難。平成21年度:1件、平成24年度:2件、平成25年度:1件であった。平成24年度、25年度と毎年申請される状態となり、26年度も見込まれる。 ・施設の老朽化対応や国際化整備等、国に求められる整備ニーズは全体として増加傾向にあり、予算的な制約等により対応に遅れもあるが、地域振興にも資する利用拠点での整備や重要な自然環境の保全、再生に資する整備を選別し、優先度の高い事業を着実に推進している。 ・温泉の保護と利用に関しては、平成25年度に見直しを行い「鉱泉分析法指針(改訂)(案)」及び「禁忌症及び入浴又は飲用上の注意の決定基準等(案)」を策定した。
	施策の分析	
	次期目標等への反映の方向性	

学識経験を有する者の知見の活用	中央環境審議会温泉小委員会を開催した。
-----------------	---------------------

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	自然公園等利用者数調査
---------------------------	-------------

担当部局名	自然ふれあい推進室 自然環境整備担当参事官室	作成責任者名 (※記入は任意)	中尾 文子 森 豊	政策評価実施時期	平成26年6月
-------	---------------------------	--------------------	--------------	----------	---------